

V. 教育の実施体制

1. 教員組織

(1) 教員数・構成 (2017年5月1日現在)

1) 専任教員数

学科等名	専任教員数					設置基準で定める教員数 ()内は教授数	助手	副手・補助職員・技術職員等	備考
	教授	准教授	講師	助教	計				
情報処理学科	3	1	2	0	6	7 (3)	0	0	
国際文化学科	6	3	1	0	10	7 (3)	0	0	
学科外所属						4 (2)	0	0	
合計	9	4	3	0	16	18 (8)	0	0	

* 設置基準で定める教員数(合計)欄には、短期大学全体の入学定員に応じて定める専任教員数(第22条別表第1のロ)を記載している

2) 専任教員年令構成

区分	専任教員(助教以上)年令構成							助手等の平均年令	備考
	70以上	60~69	50~59	40~49	30~39	29以下	平均年令		
両学科 合計 16人	1	6	2	5	1	1	53.4		

3) 専任教員名簿

職名	氏名	(学) 東海大学 採用年月日	福岡短期大学 発令年月日	現職発令 年月日
学長	神山 高行	93.4.1	93.4.1	17.4.1
情報処理学科	主任・教授	矢原 充敏	93.4.1	17.4.1
	教授	佐竹 則昭	07.4.1	17.4.1
	教授	八尋 剛規	92.4.1	17.4.1
	准教授	宮川 幹平	03.4.1	17.4.1
	講師	原田 慎吾	13.4.1	17.4.1
	講師	岡本 武志	12.4.1	17.4.1
国際文化学科	主任・教授	神山 高行	93.4.1	17.4.1
	教授	林 大仁	11.4.1	17.4.1
	教授	濱田 淳一	15.4.1	17.4.1
	教授	藤本 幸男	12.4.1	17.4.1
	教授	真下 仁	90.4.1	12.4.1
	教授	中釜 隆司	16.4.1	17.4.1
	准教授	ウェア ジーン リー	12.4.1	17.4.1
	准教授	チョウ アンナ	07.4.1	17.4.1
	副主任・准教授	北濱 幹士	04.10.1	17.4.1
講師	柏木 翔	13.4.1	17.4.1	

(2) 教員の授業担当数 (2017 年度)

1) 専任教員担当授業数

所属	総コマ数 (年間)	教員一人当たりの担当持ちコマ平均 (1 週間)				
		全体平均	教授	准教授	講師	助教
情報処理学科	22.8	3.3	4.2	3.0	3.6	
国際文化学科	41.3	3.8	3.2	5.8	5.0	
計	64.1	4.0	3.5	5.1	4.1	

2) 兼任教員 (非常勤教員) 担当授業数

科目種別	総コマ数 (年間)
両学科共通科目・補助科目	0
情報処理学科専門科目	4
国際文化学科専門科目	3.6
計	7.6

2. 教育環境

(1) 校地面積等

- ・校地面積 77,714.71 m² (登記簿謄本上面積)
- ・建物面積 11,605.01 m² (登記簿謄本上面積)
- ・建物別・用途別面積 (学校基本調査上面積)

(単位: m²)

	1号館	2号館	3号館	部室	守衛室	エネルギー棟	体育倉庫	プロパン庫	コモンホール	合計
階数	6	5	2	2	1	2	1	1	3	
床面積	3,962.07	4,222.80	1,220.00	297.82	28.94	181.30	38.03	7.50	1,646.55	11,605.01

【内訳】

講義室	1,401.56	1,211.07	-	-	-	-	-	-	-	2,612.63
演習室	-	688.89	-	-	-	-	-	-	-	688.89
実験室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
演習室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
研究室	349.79	233.10	-	-	-	-	-	-	-	582.89
管理関係その他	1,888.86	1,233.94	189.14	-	28.94	181.30	-	7.50	-	3,529.68
学生会館	226.24	-	1,030.86	-	-	-	-	-	-	1,257.10
課外活動施設	-	-	-	198.15	-	-	-	-	-	198.15
図書館	-	855.80	-	-	-	-	-	-	-	855.80
講堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
体育施設	-	-	-	99.67	-	-	38.03	-	1,646.55	1,784.25
附属研究室	95.62	-	-	-	-	-	-	-	-	95.62
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 教室環境とその整備体制

号館	階	教室名	整備状況
1号館	3階	1302 教室	特に無し
		1303 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
		1304 教室	特に無し
		1305 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
		1306 教室	特に無し
		1307 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
	4階	1401 教室	特に無し
		1402 教室	特に無し
		1403 教室	特に無し
		1404 教室	特に無し
		1405 教室	特に無し
		1406 教室	特に無し
	5階	視聴覚教室	特に無し
LL 教室		特に無し	
2号館	1階	2102 教室	特に無し
	3階	コンピュータ実習室 1	コンピュータ 52 台、電子黒板システム プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 2	コンピュータ 32 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 3	コンピュータ 26 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD, VHS, DV, HDD ビデオレコーダー有
		コンピュータ実習室 4	コンピュータ 21 台、電子黒板システム プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 5	コンピュータ 8 台 MIDI コントローラ、USB ミキサー、ボーカルマイク、 CDJ、DAW・総合音源、VOCALOID 初音ミク使用可
	4階	ゼミ室 2・3	移動マイクアンプ有
	5階	2501 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
2502 教室		プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD、VHS、MD 有 (別付けデッキ)	

(3) 整備状況

※ (1 件につき 10 万円以上の設備・工事)

1) 設備

実施無し

2) 施設

実施無し

3. メディア情報環境

(1) 図書館

1) 概要

図書館の概要は次のとおりである。

2017年度 図書館の概要

床面積	855.00m ²
書架棚総延長	2040m
収容能力	80,000冊
奉仕対象学生数	67人
座席数	120席
蔵書数	78078冊
視聴覚資料	2679点
予算	1,335,000円
開館時間(通常 月～金)	9:00～17:00
開館時間(通常 土)	9:00～16:00
開館日数	212日
入館者数	4471人
一日平均入館者数	21人
学生貸出冊数	139冊
学生一人当たり貸出冊数	5冊
外部貸出冊数	5冊

図書・雑誌・視聴覚資料等の蔵書詳細は以下のとおりである。

和書・洋書総蔵書冊数

和書	洋書	合計
71,725冊	6,088冊	78,078冊

2017年度受入蔵書冊数

	和書	洋書	合計
購入	211冊	4冊	215冊
寄贈	0冊	0	0冊
視聴覚	0	0	0
合計	211冊	4冊	215冊

雑誌総所蔵数

和雑誌	洋雑誌	合計
114種	2種	116種

2017年度受入雑誌種数

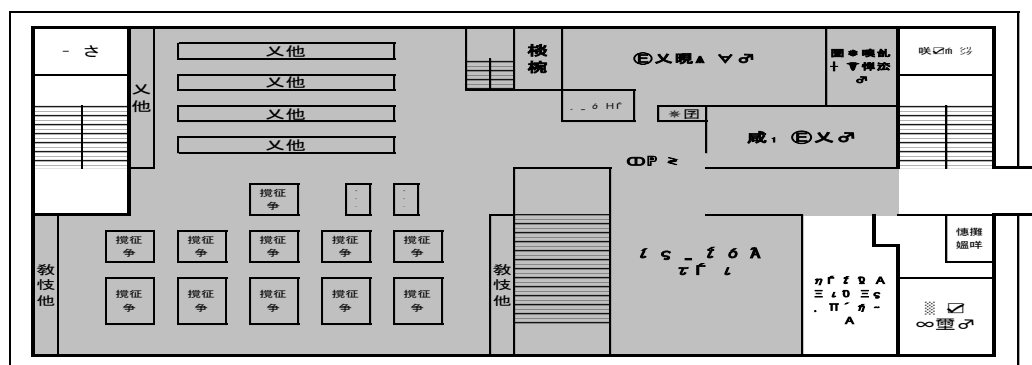
和雑誌	洋雑誌	合計
96種	0種	96種

視聴覚資料総数

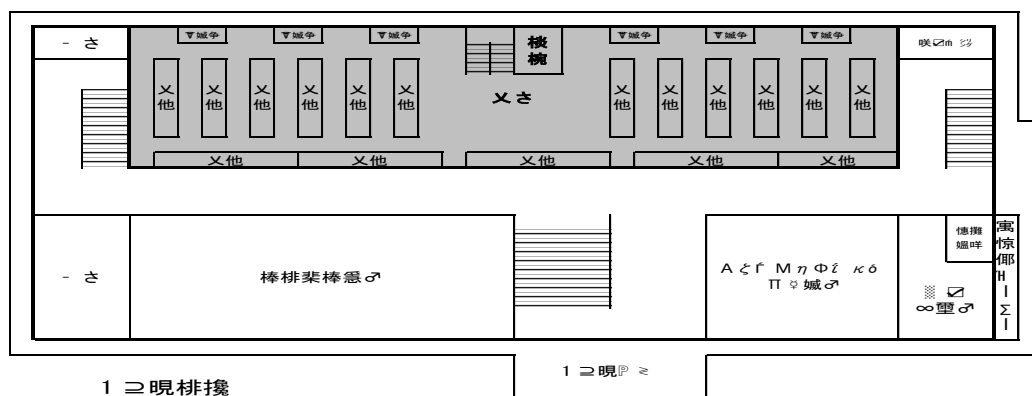
ビデオ	LD	DVD	CD	カセット
1,326	183	477	565	128

また、全体配置図は以下のとおりである。

η φ ~ , P



1 ⇒ 覗棒機



1 ⇒ 覗排機

(図書館の構成と機器の配置状況)

図書館は、本学2号館の1階と2階に渡って配置されており、書庫、閲覧室、画像図書室、ブラウジングルーム、図書館事務室、カウンターからなる。このうち、閲覧室は静謐な読書環境、画像図書室は視聴覚資料閲覧やグループワーク用途、ブラウジングルームは食事や談笑を含めた談話室として、それぞれ異なる位置付けとしている。なお、画像図書室やブラウジングルームは閲覧室から離れた位置にあり、騒音等による問題・苦情は発生していない。

機器に関して、コピー機が閲覧室内に1台設置され、利用者の文献複写用途に活用されている。パソコンは、事務用として3台（うち2台は東海大学中央図書館にVPN接続し、貸出返却業務に利用）、利用者の図書検索用として1台配置されている。また、無線LANアクセス環境が整備され、学生・教職員は自由にインターネットに接続することができる。AV機器としては、画像図書室に大型テレビ・BDレコーダー・小型テレビ各1台、閲覧室に小型テレビ4台（ヘッドホン必須）が配置されている。そのほか、セキュリティ対策として防犯カメラをカウンターに備えている。

(図書館システムと情報化)

本学単独のシステムとしては稼働しておらず、東海大学が運用する図書館情報システム(iLiswave:TIME)を利用している。東海大学附属図書館所蔵書誌データベースと国立情報センター目録情報システムをベースとした遡及入力については、本学の学生募集停止決定に伴って作業を停止したため、昨年度末から完了率は変わらず52.3%である。

(図書の購入・廃棄)

2017年度の図書予算は1,335,000円であり、内、図書費・図書資料費は1,050,000円である。図書及び図書資料（視聴覚資料を含む）の購入にあたっては、学科の教育研究方針に基づく要望（学科選書）を最優先として、教職員及び学生からのリクエスト、書店のベストセラー情報やウィークリー出版情報等をもとに、購入図書及び図書資料候補リストを作成・更新し、適宜、図書館館長の承認を得て購入している。なお、資格対策関連の図書資料については、毎年一度、資格対策指導担当教員によるリスト見

直しを行ったうえで、更新版の定期購入を行っている。

また、以下の条件（１）～（４）のいずれかに該当する図書については、除籍資料明細書を作成し、図書館館長による所定の手続きを経て、理事長の決裁の上、除籍を行っている。

- （１） 紛失資料で所在不明となって３年を経過したもの
- （２） 破損・汚損・摩擦等が甚だしく補修不能なもの
- （３） 資料価値を失ったもの
- （４） その他図書館館長が除籍を適当と認めたもの

なお、除籍した図書や不要となった図書資料については、所定の手続きにより廃棄処分としている。

（図書館の運営）

図書館の運営方針は、教職員からなる図書館委員会において審議・決定される。その運営方針に基づき、図書館館長（教員・兼務）・常勤職員１名（兼務）によって日常業務が執り行われている。なお、今年度は学生スタッフが不在となったことから、他の職員が臨時で受付業務等を担うこともある。また、旧メディア情報センターから引き継いだeラーニング教材の開発運用支援業務については、図書館長が情報システム室と連携の上で対応している。

（学生の利用促進への取組み）

毎年４月に全学生に配布するキャンパスガイド内に図書館利用ガイドを記載しており、オリエンテーション期間の全体ガイダンスにおいて図書館利用に関する説明を行っている。また、新着図書コーナーや教職員による推奨図書コーナー、学生スタッフによる新着図書案内などを設置し、図書への興味喚起を図っている。そのほか、図書及び図書資料のリクエストのほか、利用者の要望を聞く「投書箱」を設置し、学生が利用しやすい環境整備のための基礎資料として活用している。

（他大学、地域との連携）

本学は、国立情報学研究所（NACSIS）に参画しており、他大学との図書館相互貸借を行っている。また、「福岡県・佐賀県大学図書館協議会」、「西日本図書館学会」のメンバーとして、近隣大学とも積極的な協働の取組みを行っている。

地域との連携では、本学の所在する宗像市における「むなかた大学のまち協議会」に参画しており、市民図書館、同市内の福岡教育大学、日本赤十字九州国際看護大学との間で図書館相互貸借を実施している。その他、一般市民に対しても図書館を開放しており、図書の貸出サービスを実施している。

2017年度の相互貸借状況は以下のとおりである。

他図書館との相互協力状況

相互貸借件数		文献複写件数	
本館からの貸出冊数	他館からの借受冊数	他館からの受付件数	他館への依頼件数
14	3	0	1

（学生の利用状況）

学生の利用頻度は、2017年度総入館者数4,471人、画像図書室利用総数485人、貸出冊総数260冊となっている。閲覧室の利用頻度は低く、特に長期休暇中の利用は殆どない状況である。一方、画像図書室は利用者人数こそ少ないものの、授業内外の多様なシーンにおいて少人数グループによる活発な利用が見られる。なお、ブラウジングルームは入口の外側にあるため、利用者数の正確な把握ができていないが、休み時間を中心として日常的に利用がなされ、時間帯によっては席が無いこともある。

2) 現状の問題点と改善に向けての取組み

図書館利用状況の低迷は例年の課題であったが、学生募集の停止により、本年度の学生利用はさらに少なくなった。しかし、教育機関の務めとして、学生が必要とする図書・図書資料の追加や、図書館環境の整備など、サービスの質維持と学生の満足度向上に向け、少ないスタッフの中にもありながらも一定の対応はできたと認識している。なお、閉学に伴う図書館及びその蔵書の処理、その他検討事項等につ

いては、別途資料としてまとめ、他機関における運用上の資料として提供する予定である。

(2) コンピュータ実習室

1) 概要

実習用 PC (学生用のみ・教員用除く) は、第 1 実習室 (50 台)、第 2 実習室 (30 台)、第 3 実習室 (24 台)、第 5 実習室 (8 台) が設置されている。第 3 実習室は一部の PC をマルチモニター形式とし利便性を図っている。第 5 実習室は、他の部屋よりも高性能な PC 構成とし、液晶タブレットも利用でき、マルチメディア関係の実習が行えるようにしている。

ホスト室には、ブレード型サーバ 5 台 (全体で CPU 40Core、RAM 160GB、HDD 22TB) を中心に仮想サーバ環境を構築し (2014 年整備)、基幹スイッチと 40Gbps の高速ネットワークで接続している。その他、物理仮想サーバが 6 台 (2014 年度以前から稼働、全体で 12Core、RAM 24GB、HDD 6TB) 稼働している。また、物理サーバも数台稼働している。

ネットワークは校舎内の基幹スイッチ間を 20Gbps で接続しており、各部署、研究室へも 1Gbps の帯域保障されたネットワークを提供している。

2) 業務内容

a. コンピュータ実習室管理

教育システムの教育環境の改善と安定稼働を目指し、情報システム室の担当教員を中心に作業を行っている。

b. コンピュータ実習室運営

コンピュータ実習室は午前 9 時から午後 6 時まで開館している。。

5 つあるコンピュータ実習室は授業優先で利用され、その他空き時間は学生が自由に利用できる。この間の利用サポートは情報システム室職員により行われる。特に、MS-Office をはじめ学生たちのレポート作成にかかわるサポート、プリンター出力時のトラブルに関するサポートを中心に行われた。

c. Web ページ管理

下記に挙げる各 Web ページの維持管理を行った。

- 学外向けかわら版 Web ページ (<http://cms.ftokai-u.ac.jp/>)
- 学生ポータル Web ページ (<http://home.ftokai-u.ac.jp/>)
- 業務ポータル Web ページ (<http://info.ftokai-u.ac.jp/info/>)
- モバイル向け Web ページ (<http://m.ftokai-u.ac.jp/>)

学生ポータル Web ページには、授業情報、休講情報、就職情報、編入情報など、学生たちが学生生活に必要な情報が掲載されている。

d. 維持管理

情報システム室のホスト室には物理的なサーバが 5 台 (2014 年度新設) 及び 6 台 (従来から継続運用) 設置されており、これらのマシンが本学の ICT 化の根底を支えている。これらサーバマシンを 24 時間体制で監視・維持している。

e. 他部署 ICT 化補助

ICT 化が進む学内部署において、システム側の作業は順調に進んでいるが、利用率の伸びは鈍い状況である。利用者がこれらを有効利用するためには、システムの操作方法などの把握が不可欠である。このため、利用者に対し必要な補助を行った。

f. 各種情報のオンライン化

学生カルテ、出張上申、学事伝票、業務日報の電子化・データベース化を継続して行った。

g. 福岡キャンパス各組織 (附属福岡高校、附属自由ヶ丘幼稚園) の支援活動

同一キャンパス内に設置されている附属福岡高等学校、附属自由ヶ丘幼稚園の ICT 環境のサポートを

行っている。両組織とも ICT に関する専門職員が不在であり、短大情報システム室が技術支援・運用支援を行っている。また、一部の業務については福岡短大のシステムを利用している。

3) ネットワーク構成

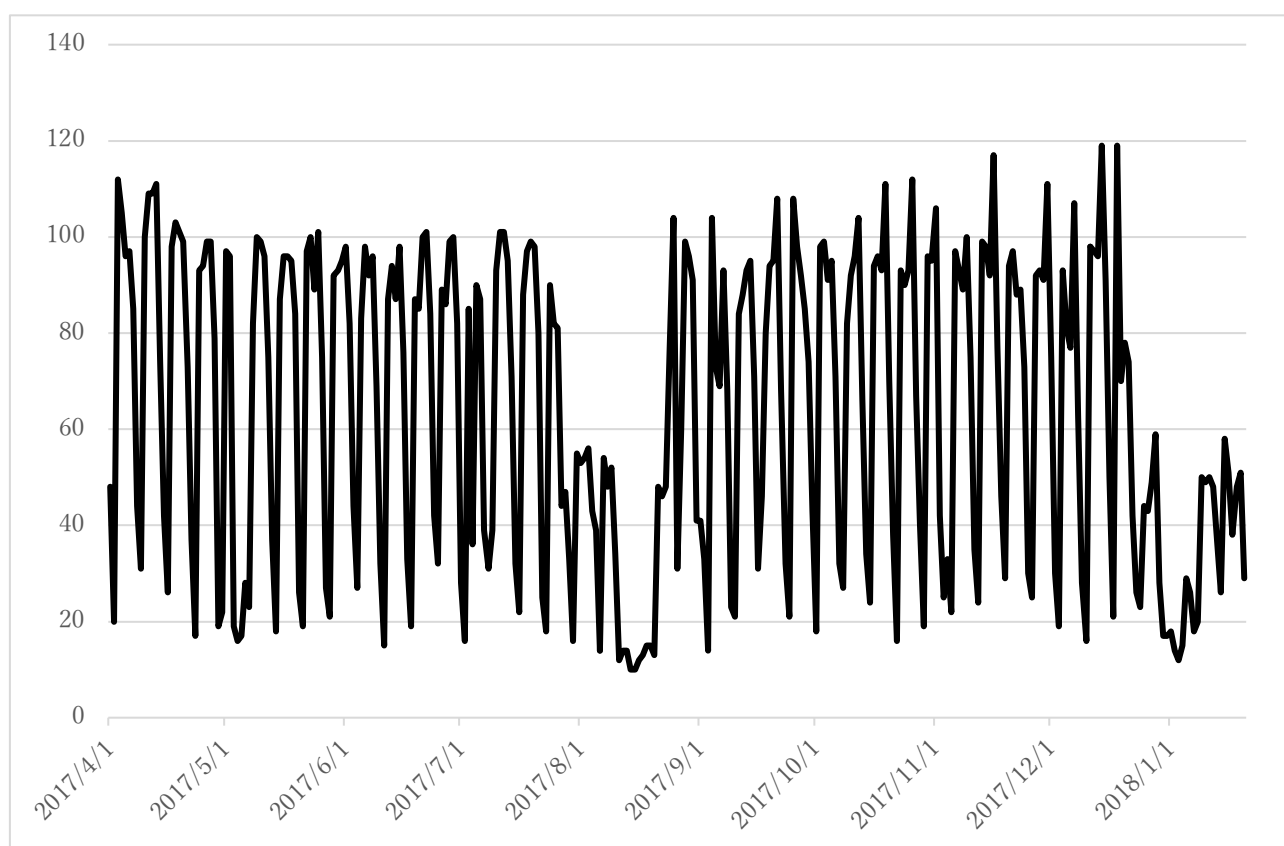
a. 学内 LAN

基幹 LAN は 20Gbps、また、各教室、研究室は最大 1 Gbps の LAN を提供している。

b. 無線 LAN

アクセスポイントは教職員・学生に開放している。個人所有の無線端末機器の接続も許可している。このため接続クライアント数が在籍学生数を上回っている。

設置アクセスポイント数	39 か所
接続クライアント数	392 端末 (前年 649 端末 前年比 60.0%)
最大利用数	119 端末 (2017. 12. 14 および 2017. 12. 18 に記録)



日別接続数の推移 (2017 年度) ※2017/04/01-1028/01/19

c. 対外接続

本学の対外接続は SINET 200Mbps (理論最大値), SuperOCN 3Mbps (帯域保障), BBIQ 100Mbps (理論最大値)で行っている。SINET (SINET 福岡 DC に接続) は媒体として NTT B フレッツを利用し、安価に高速回線を確保できている。主にメールの送受信、学外から学内情報へのアクセスに利用している。SuperOCN 3Mbps の回線帯域はさほど広くないものの、OCN バックボーンに直結している高品質回線であり、遅延が非常に少なく、また高信頼性を誇る。このため、本学のメイン Web サーバや、学内実習用 UNIX サーバへの学外からのアクセスに利用している。BBIQ100Mbps はグローバル IP を ISP から DHCP によって割り当てられる回線であり、学内情報を学外に提供する回線としては利用が難しい。よってこの回線は学内端末から学外への Web アクセスに利用している。

d. 閉学後

2018年4月以降の関連リソースは次のように措置を行う予定である。

ドメイン名は当面維持する。DNS サーバ、メールサーバ、一部の Web サーバは東海大学総合情報センターが管理運営している VPS を 2 システム (1Core , Memory 4GB, HDD 100GB) 借り受け、運用を行う (2018 年 1 月より運用)。

対外接続回線は、本学残業務処理及び本学配下に接続している東海大学附属福岡高校及び東海大学附属自由ヶ丘幼稚園へのサービス継続のため、当面、SINET 回線 (NTT B フレッツ回線) のみを維持する予定である (終了期間は未定)。なお、高校・幼稚園の対外接続については、それぞれが別途回線の確保、IP アドレス、ドメインなどの取得等を行う予定である。